

陈企望 赵秀清 编著

临床常用
药手册

中国医药科技出版社

临床常用中药手册

陈企望 赵秀清 编著

中国医药科技出版社

登记证号:(京)075 号

临床常用中药手册

陈企望 赵秀清 编著

中国医药科技出版社 出版
(北京西单大街九十五路甲 38 号)
天津市宝坻县第一印刷厂印刷
全国各地新华书店经销

开本 787×1092 1/32 印张 39.25

字数 397 千字 印数 1-3000

1994 年 10 月第 1 版 1994 年 10 月第 1 次印刷

ISBN 7-5067-0533-2 R·0489

定价:18.00 元

内 容 提 要

《临床常用中药手册》是作者根据多年临床经验编写而成的。

全书共分十四章,主要论述了解表药、清热药、泻下药、补益药等,并且把每一个病证的病因、病机、诊断、治疗用药拟方都有机的融汇在每一味药中论述。不仅对临床用药有一些帮助,对治愈病人也有一定的好处。

本书内容丰富、资料翔实、理论与实践相结合,适合于广大医学爱好者参考阅读。

前 言

中药学是一个写不完的题目,因为人们对中药的认识在逐渐加深。通过临床实践,每一个临床医师都会对常用的几百种中药摸索出自己的使用经验和治疗体会。如果想把这些经验和体会传播的范围大一些,就会采用写中药书的形式。从古到今中药书籍出版了那么多,现在又有中医学院的正式教材和各家编的中药书,似乎没有必要再编这本小书。其实各本书都有其自身的特点,每本书中哪怕是有作者的点滴经验或创新都是非常宝贵的。中药学能发展成今天这样一门较为完整的学科就是这样一点一滴的发展起来的。中国的第一本中药学叫《神农本草经》,这本书中对每味药只是简单地叙述几十个字,通过千百年的总结发现,如今对每味药的叙述可以洋洋万言。就是这样,也只能说我们对每味药的认识比较接近它的本来性能,其中还有很多没认识的东西有待我们去摸索,有人说中药里面未知数太多,一时难以搞清,这是有一定道理的说法。现在虽有药理研究作辅助,但有时又不能脱离中医理论去追求药理性能,这样似乎限制了药理对中药使用的指导意义。实际上目前指导中药使用的基础仍然是中医理论,而并不是现代药理。如何发挥现代药理对中药使用的指导作用是今后应该探讨的课题。基于这个想法,本书在一些主要药的性味、归经、功能、主治的前面加了“主要成分”与“药理报道”两项。因为目前不能将每味药的成份与药理都搜集到,实在找不到的只能暂缺,所以将主要成分及药理报道列为参考项目。

书中有些用药方法受到了药理启发也确实收到了良好疗效,但愿这些能逐渐纳入中医理论。

本书以性味、归经、功能、主治为每味药必备,有些药从古至今此四大要点不完全,凡遇这种情况本书根据中医理论及临床实践都做了补充。有些古代的一些书籍在注解中出现的方子许多只列药名而没有方名,为了称谓方便在引这些方时都根据方子的内容及特点加了方名,如果是现代人的经验方则注出现代方字样。

对每味药的论述,根据以往论述“本草”的方法,一般情况下只写出其所治症状或病名,不加说明根据什么,如防风除治疗外感风寒症及风湿痹症外还能治腹泄痢疾为一些人所不解,这是根据喻嘉言在《寓意草》中以荆防败毒散治痢疾,名曰逆流挽舟之法而提出来的,类似这种情况,融汇贯通之后自可理解。

在补养药的编排上一般地说应该以补气、补阳、补血、补阴的顺序,本书考虑到气与血是互相依存的一对,阴与阳是互相依存的两个方面,而且气血阴阳又是中医界普遍说顺了的常用语,所以采用了补血、补气、补阴、补阳的编排顺序。

中药中补血药公认的有当归、阿胶等,这些药对治疗血虚症是很好的,自有了现代医学的“贫血”,“白细胞减少”概念以后,对血虚的认识有了补充,光用治血虚的药已感不足,于是可以根据中医理论选用鹿角、破故纸等治阳虚的药。鹿角是治疗贫血较有效的药物,故将其划入补血药,这样可以提醒人们治疗贫血要首选这些药,免得将其划入补阳药而忽视了其治疗贫血的主要功能。虽然将鹿角、大云、破故纸等划入补血药,其有些补肾功能并不埋没,这也和熟地一样,既可以划入补血

药也可划入补肾药,并没有原则问题。

以往将三七划入止血药,三七与人参同为五加科是名贵的中药有一定的补性,放在止血药中实在是太埋没了它,因三七对中医之血虚症有一定疗效,除了三七的止血活血以外应该注意到它的补血作用本书将其划入补血药意在充分发挥三七的广泛作用。至于白芨是传统上的止血药,因为其对肺结核和支气管扩张咳血有很好的疗效,对一些血液病也有些疗效,故也将其划入补血药,主要考虑它不光是止血而是止血中又补血。

本书为了符合中医的组词习惯尽量采用四字一词的修辞方法。这也带来了一些问题,即如何将西医名词变成可以让人承认的中医名词,如抗菌降压、扩张血管、降低血脂等正好是四字词组可以把原词引过来,有些则不得不加字或减字或缩写以求词组整齐划一。原来设想如将抗病毒是否可以写成抗毒,猩红热是否可以写成猩红热症,扩张冠状动脉是否可以写成扩脉,将扩张血管是否也可以写成扩脉,将冠心病、心绞痛是否可以缩写成冠心绞痛等。后经征求各家意见认为这些词还是原封不动地用比较规范,所以除猩红热,高血压等后面加一“症”字外,其他皆基本按原词引用。

至于这些引来的名词该不该放入功能与主治的正文,笔者认为还是应该列入正文,如果不列入正文就不能成为充实中医及中药理论的一部分,中医历来是善于吸收外来的东西充实自己的理论的,从中药中有那么多舶来品不难证实这个问题,今天引用现代医学名词充实自己,也是对中医传统的一种继承。

本书的接语部分大部分是对一些药的古今是否为一物述

行考证,目的是探索最原始的药源为何物以便充实今天我们对中药的使用。比如羚羊角。笔者认为古之羚羊角不是今之羚羊角,提出是否可以还羚羊角本来药源问题,以扩大药材来源。按语的很少一部分是对药物使用的说明,这部分占的面儿很小。

炮制、禁忌、按语三项是根据每味药是否需要列出此项而设立,所以并不是每味药都有此三项,宗旨是能说清楚该药的使用范围又没有特殊炮制及禁忌的一般不列此二项,没有要考证或临床治疗说明的则不设按语。

对《历代医论》的引用则尽量引《神农本草经》的,《神农本草经》中不载的则尽量以该药出现的朝代先后而引用相应时代的论述。对“历代方例”的引用有些是名方,有些虽不是名方,但考虑该方治疗作用特殊也加以引用,在这种情况下因篇幅所限只好抛掉人们比较熟悉的方子。又考虑大家都熟悉的方子人们都会了,那些不熟悉而又有效的方子列出来对人们的帮助会更大些。

本书中对一些明显混淆了的药名做了更正,如有的书将本质淡竹及草质的一种类似竹叶的植物都称淡竹叶,二物一名无法区分,本书建议对草质的类似竹叶的植物改称为草竹叶,这样二物就分开了,类似情况有几处都一一做了详细说明。

本书原打算叫《临床中药学》或《中药指南》等等,经征求各方专家意见后认为这样的书名帽子太大,本书是否可称《临床常用中药手册》,笔者认为意见中肯,关键不在叫什么名而是看其内容是否对临床有用。何况象《临床中药学》、《中药学简编》等在五、六十年代已出过多种,今天再用此名也显得重

复。笔者认为这本书的编写某些方面如果对临床用药有一些帮助,对治愈病人有一些好处。也就实现了笔者多年夙愿。退一步说本书也是一本临床参考书,搞中医的人都会知道,中医的理论与实际临床有一定距离,比如妇人痛经下腹发凉,按中医理论应该属寒症,治疗应该用热药,可有的医生套用西医此类病是存在炎症的观点,用清热的凉性药治疗也收到很好的疗效。类似这类问题还都需要去研究解释,既然有疗效就有存在的必要。基于这样的理解,如秉本书中有一些不完全是传统说法的地方,也是出于服务于临床来考虑的,可以做为临床用药参考。因为本书是中药书,所以不可能对每一个病证的病因、病机、诊断、治疗、理、法、方、药等做详细的论述,但是对许多病的治疗用药拟方都有机的融汇在每一味药的论述之中,可以称为以药带证,如果真能将每一味中药在理、法、方、药中的地位吃透了那许多所谓疑难症就会迎刃而解。有是病就有是药,是中医学克病致胜的理论支柱,许多病不是不能治而是我们在单味药的发现和配伍上还有缺陷,本书则致力于完善这方面的工作,以使中药“宝库”中更加些“紫电清霜”。

对书中谬误之处望同道指正。

陈企望

1991.4.2

目 录

第一章 解表药

一、辛温解表药	(2)	金银花	(21)
麻黄	(2)	忍冬藤	(22)
桂枝	(3)	连翘	(23)
羌活	(5)	桑叶	(24)
辛夷	(6)	菊花	(25)
荆芥	(8)	赤桤柳	(26)
防风	(10)	葛根	(27)
升麻	(11)	葛花	(29)
细辛	(12)	浮萍	(29)
紫苏叶	(14)	薄荷	(30)
紫苏梗	(15)	淡豆豉	(31)
紫苏子	(16)	大豆黄卷	(32)
葱白	(17)	牛蒡子	(33)
生姜	(18)	淡竹叶	(34)
胡荽	(19)	蝉蜕	(35)
二、辛凉解表药	(20)		

第二章 清 热 药

一、苦寒清热药····· (37)	芦根 ····· (56)
黄连 ····· (37)	西瓜翠衣 ····· (57)
黄芩 ····· (39)	西瓜霜 ····· (57)
黄柏 ····· (40)	三、清虚热药····· (58)
龙胆草 ····· (42)	银柴胡 ····· (58)
胡黄连 ····· (43)	青蒿 ····· (59)
栀子 ····· (44)	白薇 ····· (60)
知母 ····· (45)	地骨皮 ····· (60)
柴胡 ····· (46)	四、清肝明目药····· (61)
猪胆汁 ····· (47)	决明子 ····· (62)
三颗针 ····· (48)	木贼 ····· (62)
马尾连 ····· (49)	夏枯草 ····· (63)
白头翁 ····· (49)	密蒙花 ····· (64)
小檗 ····· (50)	蕤仁 ····· (65)
苦丁茶 ····· (51)	青箱子 ····· (65)
茶叶 ····· (52)	苘麻子 ····· (66)
二、甘寒清热药····· (53)	玄精石 ····· (67)
石膏 ····· (53)	白蒺藜 ····· (67)
寒水石 ····· (54)	夜明砂 ····· (68)
粳米 ····· (54)	望月砂 ····· (68)
竹茹 ····· (55)	

第三章 泻 下 药

一、泻下药····· (70)	大黄 ····· (70)
-----------------	---------------

芦荟	(72)	麻油	(78)
番泻叶	(73)	蜂蜜	(78)
芒硝	(73)	三、逐水药	(79)
元明粉	(74)	大戟	(79)
巴豆	(75)	芫花	(80)
二、润下药	(76)	甘遂	(81)
火麻仁	(76)	商陆	(82)
郁李仁	(77)	牵牛子	(82)
海松子	(77)	千金子	(83)
白脂麻	(78)		

第四章 补 益 药

一、补血药	(86)	桑椹	(95)
何首乌	(86)	阿胶	(95)
鹿角	(87)	龙眼肉	(96)
鹿血	(88)	三七	(97)
鹿肉	(88)	白芨	(98)
鹿胎	(88)	羊肝	(98)
鹿角胶	(89)	熟地黄	(99)
鹿角霜	(89)	獭肝	(100)
鹿衔草	(90)	灵芝	(100)
肉苁蓉	(90)	干地黄	(101)
补骨脂	(91)	二、补气药	(102)
当归	(92)	人参	(102)
紫河车	(94)	党参	(103)
夜交藤	(94)	太子参	(104)

明党参.....	(105)	山丹.....	(121)
饴糖.....	(105)	鸡子黄.....	(122)
糯米.....	(106)	白木耳.....	(122)
黄芪.....	(106)	凤凰衣.....	(123)
山药.....	(107)	猕猴桃.....	(123)
白术.....	(108)	旋花.....	(124)
扁豆.....	(109)	百药煎.....	(124)
甘草.....	(109)	燕窝.....	(125)
人参芦.....	(111)	蛤土蟆.....	(125)
人参叶.....	(111)	蛤蟆油.....	(126)
人参花.....	(111)	猪肤.....	(126)
人参须.....	(112)	猪胰.....	(126)
大枣.....	(112)	人参果.....	(127)
三、养阴药	(113)	罗汉果.....	(127)
(一)养脾胃之阴药	(113)	荔枝.....	(128)
.....	(113)	稻豆衣.....	(128)
天门冬.....	(113)	(二)养肝肾之阴药	(129)
石斛.....	(114)		(129)
麦门冬.....	(115)	女贞子.....	(129)
南沙参.....	(116)	枸杞子.....	(129)
北沙参.....	(117)	鳖甲.....	(130)
西洋参.....	(117)	鳖甲胶.....	(131)
冬虫夏草.....	(118)	黄精.....	(132)
玉竹.....	(119)	楮实.....	(132)
十大功劳叶.....	(120)	鱼鳔.....	(133)
百合.....	(121)	猪脑.....	(133)

猪髓·····	(134)	仙茅·····	(147)
冬青子·····	(134)	家韭子·····	(148)
乌骨鸡·····	(135)	海狗肾·····	(148)
龟版·····	(135)	棉花子·····	(149)
旱莲草·····	(136)	海马·····	(150)
四、补阳药·····	(137)	列当·····	(150)
(一)回阳救逆药·····	(137)	阳起石·····	(151)
附子·····	(137)	钟乳石·····	(151)
干姜·····	(139)	海龙·····	(152)
肉桂·····	(140)	海燕·····	(152)
天雄·····	(141)	(三)补肾涩精药·····	(153)
(二)补肾壮阳药·····	(142)	菟丝子·····	(153)
鹿茸·····	(142)	五味子·····	(153)
蛤蚧·····	(143)	锁阳·····	(155)
巴戟天·····	(143)	益智仁·····	(155)
沙苑子·····	(144)	山茱萸·····	(156)
胡芦巴·····	(145)	南烛子·····	(157)
淫羊藿·····	(146)	胡桃仁·····	(158)

第五章 重镇安神熄风药

一、重镇药·····	(161)	朱砂·····	(165)
石决明·····	(161)	琥珀·····	(166)
珍珠·····	(162)	代赭石·····	(167)
珍珠母·····	(163)	紫贝齿·····	(168)
磁石·····	(164)	礞石·····	(168)
紫石英·····	(164)	生铁落·····	(169)

云母·····	(170)	天竺黄·····	(182)
金箔·····	(170)	竹菌·····	(183)
银箔·····	(171)	蜈蚣·····	(183)
龙齿·····	(171)	蛇蜕·····	(184)
二、熄风药·····	(172)	熊胆·····	(185)
全蝎·····	(172)	晚蚕沙·····	(185)
钩藤·····	(173)	马宝·····	(186)
天麻·····	(174)	三、安神药·····	(187)
羚羊角·····	(175)	酸枣仁·····	(187)
山羊角·····	(177)	远志·····	(188)
黄羊角·····	(177)	柏子仁·····	(189)
羖羊角·····	(178)	合欢皮·····	(190)
白僵蚕·····	(179)	合欢花·····	(190)
僵蛹·····	(179)	莲子心·····	(190)
玳瑁·····	(180)	茯神·····	(191)
白附子·····	(181)	茯神木·····	(192)
胆星·····	(182)	秫米·····	(192)

第六章 芳香开窍药

麝香·····	(195)	冰片·····	(200)
苏合香·····	(196)	灵猫香·····	(201)
石菖蒲·····	(197)	安息香·····	(201)
蟾酥·····	(198)	牛黄·····	(202)

第七章 温中止痛药

吴茱萸·····	(204)	蜀椒·····	(205)
----------	-------	---------	-------

椒目·····	(206)	瓦楞子·····	(212)
小茴香·····	(206)	天仙子·····	(212)
八角茴香·····	(207)	山柰·····	(214)
荜菝·····	(208)	胡椒·····	(214)
艾叶·····	(209)	肉豆蔻·····	(215)
高良姜·····	(210)	山蒜·····	(216)
荜澄茄·····	(211)	荜菝根·····	(217)

第八章 化湿药

一、祛暑化湿药 ·····	(218)	大腹皮·····	(227)
藿香·····	(218)	三、保肝化湿药 ·····	(228)
香薷·····	(219)	茵陈蒿·····	(228)
佩兰·····	(220)	鸡骨草·····	(229)
扁豆花·····	(221)	虎杖·····	(230)
扁豆衣·····	(221)	蓼实·····	(231)
二、健脾化湿药 ·····	(222)	水红花子·····	(231)
苍术·····	(222)	螵蛸菊·····	(232)
厚朴·····	(223)	皂矾·····	(232)
厚朴花·····	(224)	消石·····	(233)
草果·····	(224)	王瓜根·····	(234)
草豆蔻·····	(225)	景天·····	(235)
薏苡仁·····	(226)	木耳·····	(236)

第九章 消导药

一、消导药 ·····	(238)	建神曲 ·····	(239)
神曲·····	(238)	山楂·····	(239)

麦芽····· (240)	二、涌吐药 ····· (243)
谷芽····· (241)	瓜蒂····· (244)
稻芽····· (241)	藜芦····· (245)
鸡内金····· (242)	胆矾····· (246)
地枯萝····· (242)	食盐····· (246)
陈仓米····· (243)	蜀漆····· (247)

第十章 理气药

一、行气舒肝药 ····· (248)	木香····· (261)
陈皮····· (248)	白豆蔻····· (262)
橘络····· (249)	延胡索····· (263)
薤白····· (249)	娑罗子····· (264)
橘白····· (251)	蕤苬····· (264)
橘核····· (252)	砂仁····· (265)
橘叶····· (252)	砂仁壳····· (266)
川楝子····· (253)	九香虫····· (266)
香附····· (254)	三、破气药 ····· (267)
郁金····· (255)	青皮····· (267)
佛手····· (256)	枳实····· (268)
香橼····· (256)	枳壳····· (269)
玳玳花····· (257)	三棱····· (270)
绿萼梅····· (258)	蓬莪术····· (271)
玫瑰花····· (259)	四、降气药 ····· (272)
玫瑰露····· (259)	降香····· (272)
二、理气止痛药 ····· (260)	柿叶····· (273)
乌药····· (260)	柿蒂····· (274)